

平成27年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成27年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター	所管課	企業立地雇用課
所在地	〒 020 - 0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2-7		
電話番号	(019) 638 - 1302	設立年月日	平成 55 年 9 月 2 日
代表者	理事長 谷藤裕明	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	この法人は、勤労者の福祉を図り、労働力の確保と雇用の安定に資することを目的とする。		
主要事業	① 上記目的ののっとり設立された盛岡地区勤労者共同福祉センター施設の管理運営を行う。 ・ 福祉会館施設 ・ 催事場(大ホール)施設 ・ 体育館施設		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input type="checkbox"/> ある (アドレス http://) <input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法	施設のパンフレット、同じ団地内にある協同組合のホームページでの当施設の紹介

3 職員構成及び給与体系

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計
			うち市OB	うち市派遣		
役員	理事	0	0	0	6	6
	監事	0	0	0	2	2
	計	0	0	0	8	8
職員	管理職	正職員	1	0	0	1
		臨時職員	0	—	—	
	一般職	正職員	1	0	0	2
		臨時職員	0	—	—	
	計	正職員	2	0	0	3
		臨時職員	0	—	—	
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	60	歳
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(派遣元の給与体系による)				

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	1,000 千円	本市出資等額	800 千円	本市出資等割合	80.0 %
主な出資等者					/
① 盛岡市			(出資等割合	80 %)	
② 矢巾町			(出資等割合	20 %)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成26年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
補助金内訳					
①			(平成26年度予算額	千円)	
②			(平成26年度予算額	千円)	
③			(平成26年度予算額	千円)	
負担金・交付金内訳					
①			(平成26年度予算額	千円)	
②			(平成26年度予算額	千円)	
委託料内訳					
①			(平成26年度予算額	千円)	
②			(平成26年度予算額	千円)	
指定管理料内訳					
①			(平成26年度予算額	千円)	
②			(平成26年度予算額	千円)	
③			(平成26年度予算額	千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		利用料金収入(平成26年度予算額	千円		
		法人の収入全体の	%		

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	矢巾勤労者共同福祉センター(福祉会館)
-------	---------------------

6 法人の経営内容の詳細(その1:公益法人用)

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
収支の状況	総収入	32,921	30,502	31,884
	当期収入(A)	27,572	24,967	27,719
	基本財産運用収入	0	0	0
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	4,209	4,209	4,169
	うち市からの補助金等(B)	0	0	0
	事業収入(C)	23,078	20,498	23,259
	うち自主事業収入	23,078	20,498	23,259
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	285	260	291
	前期繰越額	5,349	5,535	4,165
	総支出	27,386	26,337	27,366
	当期支出	27,386	26,337	27,366
	人件費	10,080	10,080	10,368
事業費(人件費除く)	13,824	12,492	13,332	
管理費(人件費除く)	1,482	1,765	1,666	
資産取得支出	0	0	0	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	2,000	2,000	2,000	
当期収支差額	186	▲ 1,370	353	
次期繰越収支差額	5,535	4,165	4,518	
正味財産の状況	経常収益(F)	27,572	24,967	27,719
	経常費用	27,386	26,337	27,366
	当期経常増減額	186	▲ 1,370	353
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	98,858	95,248	93,698
	うち固定資産	92,704	90,563	88,662
	うち流動資産(H)	6,154	4,685	5,036
	負債	619	520	518
	うち固定負債	0	0	0
	うち流動負債(I)	619	520	518
	正味財産(J)	98,239	94,728	93,180
	うち当期正味財産増減額	▲ 2,217	▲ 3,511	▲ 1,548

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
財務指標	流動比率(H/I)	994.1	900.9	972.2
	自己資本比率(J/G)	99.3	99.4	99.4
	職員一人当たり収益高(F/(K+))	9,190.7	8,322.3	9,239.7
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	0.0	0.0	0.0
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	0.0	0.0	0.0
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	3	3	3
	うち常勤職員数	2	2	2
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	0
	管理職員比率	33.3	33.3	33.3
	職員新規採用数	0	0	0
うち常勤職員数	0	0	0	
事業指標	① 催事場の利用料収入	16,318	14,050	15,178
	② 福社会館の利用料収入	5,173	4,726	6,004
	③ 体育館の利用料収入	1,587	1,722	2,077
	④			
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	①			
	負担金・交付金額			
	①			
	委託金額			
	①			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				

平成26年度決算の概要

施設利用の状況は、福社会館、大ホール、体育館とも利用が増加し、前年より約276万円多い23,259,016円となった。施設別に利用状況を見ると、矢巾町から管理委託を受けている共同福祉施設は団地内事業所等の研修会、会議および勤労者を対象としたカルチャー教室などに利用されており、利用件数は57件増の626件、利用料収入は利用料の消費税3%アップ分を含め前年比27%増の6,003,890円であった。大ホールは、主に事業所の展示会に利用されているが、利用件数は7件増の108件、利用収入は前年比8%増(消費税増分含む)の15,178,106円となった。体育館では、利用件数は83件増の654件、利用料収入は前年比20.6%増(消費税増分含む)の2,077,020円になった。

支出については、冬場の初めと春先に降雪量が多かったこと、消費税が上がったことなどにより支出が前年比3.9%増加した。

岩手県からの借地料が地価の下落により前年より約4万円下がったこと、運営積み立てを200万円行なったことにより、全体としての支出は27,366,269円となり、次年度への繰越額は、前年度と比較して約35万円増の4,517,842円となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

A	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント)	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成25年度決算において黒字である。	○	
2	平成26年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	平成26年度決算において減価償却前黒字である。	/	/
5	事業計画どおりの償却前赤字である。	/	/
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	/	/
7	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%未満である。	/	/
8	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%~100%である。	/	/
9	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は100%超である。	/	/

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」